



実行委員長のあいさつ

実行委員長 (株)TEC予備校
代表取締役 古田 茂樹
徳島同友会副代表理事

ここ徳島の地で全国行事を開催するのは、2006年の青全交以来7年ぶりのことです。当時会員数200名でなんとか徳島らしさを示し、全国からの参加者の皆さまから喜びと自信をいただき、それをバネに今年4月では会員数400名を超えました。

次は質です。今回の経営労働問題全国交流会を設営する上で私たちの目標は、会のテーマである「学びから実践へ」をさらに加速させることです。企業変革支援プログラムを全国一使用会となることです。参加者のみなさまからモチベーションとエネルギーをいただき、阿波踊りのように熱い経営労働問題交流会になります。

さて、参加のみなさまには徳島らしさを味わっていただきます。それはなにか、ぜひ楽しみにしてください。では、9月26日、27日徳島でお会いしましょう。

会場へのアクセスマップ



JR徳島駅より徒歩0分(ターミナルビル内)
徳島空港からバスで約35分
徳島インターチェンジより車で約15分

宿泊:ホテルクレメント徳島
(シングル9,500円・ツイン8,500円、朝食・税・サ込料金)

《プログラム》

9月26日(木)

12:00 受付
13:00 全体会・問題提起
13:50 会場移動
14:05 分科会
18:30 夕食交流会
20:00 終了

9月27日(金)

9:00 全体会・分科会報告
9:20 記念講演
10:50 グループ討論
11:50 まとめ
12:00 閉会

◆参加申込先
お申込みはあなたが所属する同友会事務局へ

◆申込締切・キャンセル期限 9月20日(金)
※9月21日(土)以降のキャンセルは参加費・宿泊費の
全額をご負担いただきますのでご注意ください。



主催：中小企業家同友会全国協議会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-16 市ヶ谷KTビル3F
TEL:03-5215-0877 FAX:03-5215-0878
<http://www.doyu.jp/>

設営：徳島県中小企業家同友会

〒770-8056 徳島市問屋町43
TEL 088-657-7363 FAX 088-657-7364
<http://www.tokushima.doyu.jp/>

第3回経営労働問題全国交流会 参加申込書

氏名(ふりがな)	男・女	企業名	社内役職
同友会内役職	第1希望 分科会 第()分科会	第2希望 第()分科会	宿泊 要(シングル・ツイン) 不要

※本登録内容は行事設営のため中同協の管理のもとに参加者名簿等に活用し、それ以外に使用することはありません。
※本行事の様子を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆さんの写真が掲載されることがありますので、不都合がありましたら所属同友会までご連絡下さい。

「中小企業労使問題全国交流会」
「経営指針成文化運動交流会」併設
「学びから実践へ」

in 徳島

第3回 経営労働問題 全国交流会

経営指針実践の輪を広げ、社会の主役担う企業に

●とき
2013年9月26日(木)・27日(金)
■受付12:00 ■9/26 13:00開会 9/27 12:00閉会

●ところ
ホテルクレメント徳島
徳島市寺島本町西1丁目61番地(JR徳島駅横)
TEL:088-656-3333 <http://www.hotelclement.co.jp/>

●参加費
20,000円
(パーティー参加費・記録誌代込み、宿泊費別途)

Welcome to TOKUSHIMA

【開催趣旨】

「2009年経営労働問題全国交流会」は、1984年から毎年開いている「中小企業労働問題全国交流会」に、2006年より開催している「経営指針成文化運動交流会」を合同で開催し、企画を担当する中同協経営労働委員会が所管する各分野の交流を図る内容として実施し、隔年で開催します。

【開催目的】

- ①経営労働委員会が担当する4部門(労使見解の普及、経営指針成文化・実践運動の推進、企業変革支援プログラムの普及・活用促進、労使における今日的課題の検討)について見識を深め、同友会がめざす企業づくりの運動を交流・推進します。
- ②各地で「人を生かす経営」＝「労使見解」(中小企業における労使関係の見解)実践企業を増やし、雇用と地域をまもる中小企業の役割を再認識し、地域からの期待にこたえられる企業づくりの方向を確認する場とします。
- ③開催地徳島では、日本一「企業変革支援プログラム」を使う同友会を目指し、経営指針実践の意欲を旺盛にします。徳島での労使見解の精神を広げ、深める場とします。

全体会



問題提起者 株式会社大栄電機工業 代表取締役 大野 栄一氏
中同協経営労働委員会委員長・愛媛同友会代表理事

経営実践できる経営指針成文化運動になっているのか、企業変革支援プログラムは企業づくりの活動に位置づけられているか、就業規則や賃金規定、ワーク・ライフ・バランスなど、労働環境の整備への対応はできているか。今一度、参加者のみなさんとともに経営労働委員会の活動のあり方を考えます。

あてになるのか
経営労働委員会

経営指針の成文化運動に自己満足していないか

～求められる経営指針実践運動の推進～



報告者 和新生業(株) 代表取締役
森 茂博氏
福岡同友会副代表理事・経営労働委員長

各同友会で経営指針の「成文化」の取り組みは進んできていますが、「成文化しても経営実践につながらない」ことが大きな課題となっています。経営指針成文化・実践の運動が体系的に取り組まれているのか、定期的な見直しやフォローは行われているのか。また社員を巻き込んだり、全地域・全会員に広げる仕組みはできているのか。福岡同友会、岩手同友会の事例から経営指針成文化・実践運動のあり方を学び合います。

座長 東洋産業(株)
代表取締役 玄地 学氏
中同協経営労働副委員長
宮城同友会副代表理事

第3分科会



報告者 東日本機電開発(株) 代表取締役
水戸谷 剛氏
岩手同友会常任理事・経営労働委員長

26日



地域を変える同友会の企業づくり運動への期待

～企業変革支援プログラムと中小企業振興基本条例、エコノミックガーデニング～

第1分科会

報告者 拓殖大学政経学部 教授 山本 尚史氏

山本尚史氏はエコノミックガーデニング(2006年度版アメリカ中小企業白書で取り上げられた、地域経済活性化プログラムの名称)の研究で知られ、各同友会の例会・研究会でも講師として活躍中です。山本氏の報告をもとに、企業変革支援プログラム、中小企業振興基本条例、エコノミックガーデニングに焦点を当て、地域経済と中小企業との関わりについて考えます。また山本氏から企業変革支援プログラム全国データの分析結果についても紹介していただく予定です。

座長 株式会社山田製作所 代表取締役 山田 茂氏
中同協経営労働副委員長・大阪同友会副代表理事



報告者 株式会社シケン 代表取締役
島 隆寛氏
徳島同友会理事

天才でないなら素直に学んで実践あるのみ。
企業変革支援プログラムも同じでしょ?

歯科技工所の2代目として27歳で社長に就任して10年が経ちました。就任後どう経営をすれば良いかが分からず、2004年に同友会に入会して、翌年「経営指針を創る会」に参加しました。その後、経営指針発表会の実施と、6年連続で新卒採用、経営指針実践塾へもサポーターとして関わってきました。それらの積み重ねで、当社の離職率は20%から6%に減少しました。企業変革支援プログラムは発売と同時に社内で経営幹部と共に実施、経営課題を共有することができ、取り組むべき具体案や優先順位が見えてきました。まずはそれを、素直に活用することから始めてみませんか?

座長 株式会社徳島ランドリー 専務取締役 寺田 敏行氏
徳島同友会理事

第4分科会

学ぶだけでは変わらない

労使見解の理解と実践は広がっているのか

～同友会がめざす「人を生かす経営」の推進について～



報告者 株式会社サンテック 代表取締役 青木 義彦氏
愛知同友会副代表理事
人を生かす経営推進部門長

時代の変化に対応した強靱な企業づくりを進めるために、全ての同友会活動の柱に「人を生かす経営」をすて学び実践していくことが求められています。その「人を生かす経営」のベースとなるのが「中小企業における労使関係の見解」(略称「労使見解」)です。「労使見解」の精神を生かした「人を生かす経営」の実践をいかに広げていくか。愛知同友会と兵庫同友会の実践をもとに学び合います。

座長 株式会社AZUMA 代表取締役 上田 裕子氏
中同協経営労働副委員長
熊本同友会副代表理事

第2分科会



報告者 明石加工サービス(株) 代表取締役 伊集院 雅人氏
兵庫同友会理事
経営労働委員長

27日



講師：渥美 由喜(あつみ なおき)氏
厚生労働省 政策評価に関する有識者会議委員(民間シンクタンク研究部長)

「社員の力を引き出す企業とは」

～労働環境の改善で強靱な経営体質に～

少子高齢化が進む中、働きながら介護や子育てに関わる人が増えています。強靱な企業をつくるためには、労働環境の改善・働き方の見直しと生産性の向上が不可欠となっています。ワーク・ライフ・バランス(WLB)をはじめとした労働環境改善はなぜ必要か、そのメリットは何か、また具体的に実践するにはどのようにしたらよいのかを問題提起します。